

コロナ禍における自治会課題・ニーズ調査 報 告 書

令和 3 年度

春日部市自治会連合会

目 次

I	調査の概要	1
1	調査実施概要	
II	調査結果	2
1	コロナ禍における自治会運営の課題、ニーズの把握	
質問 1	自治会運営において困っていること	2
質問 2	自治会の財政状況について	3
質問 3	自治会活動において工夫した活動	4
質問 4	行政に求める支援	6
2	自治会における I C T の活用状況	
質問 5	I C T の活用状況	7
質問 6	I C T の活用状況（サービス別）	7
質問 7	I C T を活用していない理由	8
質問 8	お手持ちの I C T 端末	9
	【参考資料】調査票	10

I 調査の概要

【調査の目的】 新型コロナウイルス感染症による感染拡大の第5波は現在小康状態となっていますが、新たにオミクロン株が国内でも確認されるなど、気の抜けない状況が続いています。

「コロナ禍における自治会課題・ニーズ調査」は今後、第6波の流行も懸念される中での連合会運営の参考資料とするため実施したものです。

【調査時期】 令和3年12月～令和4年1月

【調査対象】 自治会連合会加盟198自治会

【回答数】 163自治会

【回答率】 82.3%

《集計結果の見方》

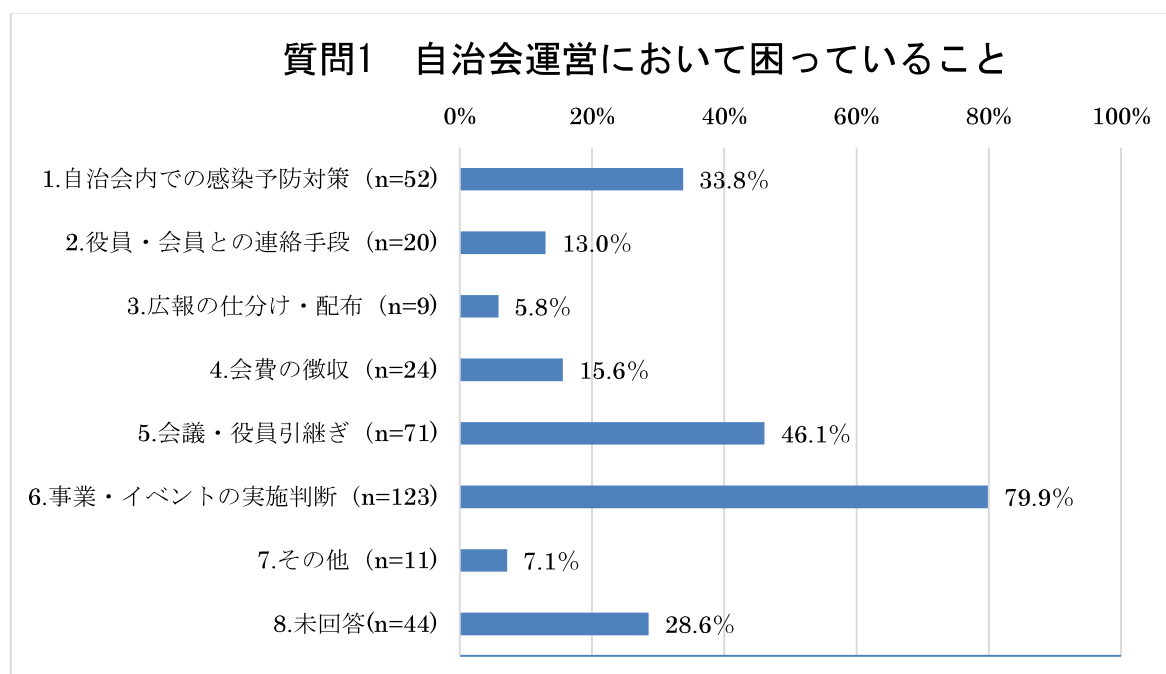
- ・集計結果の百分率(%)については、少数点以下第2位を四捨五入して表示している。
- ・図(グラフ)の中で使用されているアルファベット(n)はその設問に対する回答数である。
- ・複数回答の設問については、各選択肢の回答構成比の合計が100%を超える。

Ⅱ 調査結果

1 この度のコロナ禍における自治会運営の課題、ニーズを把握するために お聞きします。

質問1 コロナ禍での自治会の運営において、お困りになっていることをお答えください。

最も多い回答は「事業・イベントの実施判断」(79.9%)であり、次いで「会議・役員引継ぎ」(46.1%)となっております。コロナの感染者が日々増減し、緊急事態宣言やまん延防止等重点の実施期間が多かったため、事業・イベントの実施の可否の判断に苦慮していたことが分かります。

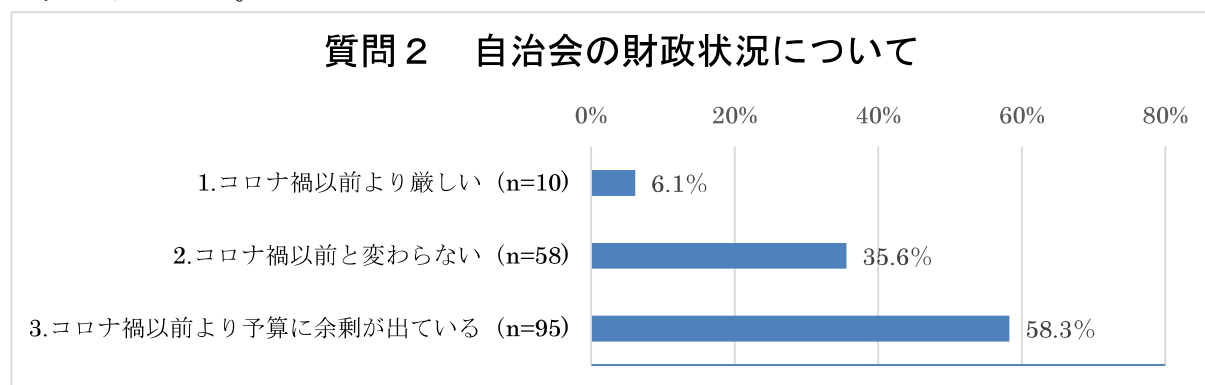


「7.その他」の回答（抜粋）

- ・町会員の一家族のコロナ感染により、更に何も出来ない状況となっている。
- ・何も困っていることはない。
- ・コロナ感染を心配して役員会に出席できない方がいる。
- ・困ってないが、毎月の班長会議は大事をとって行っていない。
- ・役員同士、会員とのコミュニケーション不足。
- ・集会所が狭く感染防止を図りにくいので、皆に集まってもらう事が難しい。
- ・高齢すぎて次の役員がいない。理解度が悪い。持病が... と逃げる。
- ・役員の担い手不足。
- ・集会所の会議スペースで役員会を行うと密になるので、正風館の会議室を利用するが、不便である。
- ・飲食を伴う会合の開催可否判断。

質問2 コロナ禍における自治会の財政状況について、最も近いと思うものに○をつけ、その理由をご記入ください。

最も多い回答は「コロナ禍以前より予算に余剰が出ている」(61.7%)であり、次いで「コロナ禍以前と変わらない」(37.7%)となっております。コロナ禍によりイベントの開催を見送ったことにより支出が抑えられた自治会が多かった一方で、会費徴収をやめる、予算の余剰分で品物を購入するなど状況に応じ対策している様子が見られました。



《理由（抜粋）》

1. コロナ禍以前より厳しい

- ・町会費の減少。空家の増加や、マンションオーナーの変更に伴い、自治会へ加入してくれなくなった。
- ・一般会員の会費の徴収は出来たが、退会者が増えた。
- ・下期、町会費徴収中止。
- ・令和2年、3年と自治会費の徴収は行わなかった。
- ・企業等からの入金が無し。
- ・寄付金等の収受が難しく、一般財政資金から捻出。
- ・草刈などのイベントを中止し、業者に委託した。

2. コロナ禍以前と変わらない

- ・令和2年度は徴収しなかったが3年度は満額徴収した為、以前の財政状況に戻った。
- ・自治会会員の戸数変動が少ないため、会費が安定した。
- ・行事が出来ない分余剰があり会費の一部を返金した。
- ・事業イベント未達の場合、市内共通商品券で還付した。
- ・イベント中止で余剰になる分を防災に関わる品物を購入した。
- ・会費徴収額、役員手当等で調整した。

3. コロナ禍以前より予算に余剰が出ている

- ・会費は通常通り徴収している。
- ・事業等を行っていない。
- ・夏祭り、新年会などの出費がない。
- ・会費の徴収には意見もあるが、従来通り徴収した。
- ・イベント中止による。ただし街路灯のLED化費用に充てる予定。
- ・年間行事が出来ず年間会計の余剰が出ている。
- ・決算前にコロナ対策費として各会員へ2,000円商品券を配布。

質問3 昨年度(令和2年度)と比較して、今年度の自治会活動において工夫して実施した活動がありましたらご記入ください。

《回答抜粋》

【イベントの企画】

- ・事業費の残にともない、特別事業として「福引き 大抽選会」を行い会費の一部を還元することにした。
- ・自治会のイベント等がなくなり会員同士会う機会がないので、声かけ運動を実施。
- ・少人数での地域パトロールと学童見守り隊の創設。
- ・町内に新居を購入して転入して来た若い子育て世帯を中心に「子育てサロン会」を立ち上げ。
- ・歩こう会の実施。検温、消毒、マスク着用で、2班に分け休憩も重ならないように時間をずらし実施。
- ・朝の公園内の掃除、草取りを役員とボランティアで行った。
- ・区の助成団体の提案で区協賛「だがしやさん」を実施。マスク、検温、消毒、入場人数を管理して行い好評。
- ・「三世代交流軽スポーツ大会」を止め、クリスマスプレゼントとして菓子の配付。
- ・お楽しみ会の中止のかわり各世帯にギフト券を配布。
- ・室内の活動ができず、屋外の活動へ移行。輪投げ大会を中止し、グラウンド大会を2回開催した。
- ・中止できない事業は最少人数で実施。

【感染対策用品の配布】

- ・各世帯にマスク（50枚入）を配布。
- ・集会所を利用して活動している区民のために、消毒液の設置とマスクを忘れた人のために予備のマスクを設置。

【クリーン活動】

- ・多くの人が集まらないよう役員のみで行い、参加は任意とした。
- ・クリーン活動、防犯パトロール、ラジオ体操など屋外で行い飲食を伴わないイベントはすべて実施
- ・日頃、外出が減った高齢者達へクリーンデーの誘い、声かけ、訪問を行った。
- ・開始時刻を定めず、ゴミ回収袋の配布場所を無人にした。回収場所は一か所にし、そこで参加者の把握をした。
- ・公園の除草作業を外部業者に委託した。

【防災訓練】

- ・三密にならないように人員制限を行った。
- ・集合での防災訓練を中止し、緊急電話連絡、情報伝達訓練に変更。
- ・人と対面しないよう「安否確認カード」を事前に配布し、当日に玄関に掲げてもらい役員が外で確認するという訓練を実施した。
- ・昨年度はLINE等による情報伝達訓練の実施をしたが、今年度は各地区10名程度の参加人数として、コロナ禍に十分気を付け手指消毒・体温測定・マスク着用を義務づけ、訓練内容と訓練時間を短縮し実施を行った。

【会議の開催方法】

- ・三密にならないよう対策した。手指消毒、検温票、アクリル板等の設置。
- ・集合せずメールにより役員の意見を集約し、活動の実施を判断した。
- ・会議の開催時期を延期した。内容を集約して効率よく少ない回数で役員会を開催。
- ・一度に集まる人数を少なくし、回数を分けて開催した。会議時間を短縮した。
- ・屋外（近隣公園）で夏は木陰、冬は日の当たる場所で3密を避けて開催。
- ・三役会議はLINEを多めにし済ませた。
- ・対面回避のためメールなどの連絡手段を頻用。
- ・手狭な集会所から正風館会議室へ役員会会場を変更。

【回覧の方法】

- ・回覧の頻度が多くなっているため、読みやすいよう文字のポイント数を大きくする、イラストを挿入するなど工夫した。
- ・広報配布時に取りに来てもらう時間帯を分けた。また短時間で済むように、事前に仕分けを行った。
- ・広報の仕分け配布は、毎月班長会を開催し行っていたが、集会所の感染防止が難しいので、役員4人で仕分け配布を実施した。
- ・回覧板で社会情勢を周知。

【その他】

- ・何も出来なかった。
- ・人集めが禁止されている為、ほとんど活動していない。
- ・昨年と同様。
- ・町会費の集金時期を感染者が多い時期に実施せず、少し落ち着いた時期にずらした。
- ・集金の際に接触時間が短くするため「おつり」が出ないよう会員に協力依頼した。

質問4 「with コロナ」というように新型コロナウイルスを想定した自治会運営をしていくにあたり、行政に求める支援がありましたらご記入ください。

《回答抜粋》

【開催基準の明確化】

- ・事業・イベントの開催の基準を示してほしい。
- ・今後の会議や行事の在り方について教えてほしい。
- ・事業やイベントを実施したいが、「コロナに罹患したらどう責任をとるか」と躊躇してしまう。実施時の準備や段取りなどの具体的な事例があれば教えてほしい。
- ・イベントの開催等の注意点を連絡してほしい。
- ・行政として、どの程度が許容で、どの程度が不可であるかを、積極的に一般向けに広報してほしい。
- ・市自治連から、自治会活動についての活動指針が示されそれに基づき活動してきたが、防災活動、国勢調査等については、市自治連の活動指針と相違していた。市・自治連活動の調整が図られた指針が示されることを要望する。

【デジタル化】

- ・文書配布・電話・Fax等を減らすために、インターネット環境を持たない会長宅に電源が有ればすぐにインターネットが使える機器を貸し出す（レンタル方式）などして、まずは会長と市役所の書類を減らし、町会内部の伝達のデジタル化を図っていく。
- ・文書等の配布を最小限にしてもらいたい。
- ・コロナの感染云々に拘わらず、必ずしも出席の必要のない会議や行事は、リモートもしくはペーパーに切替えを促進願いたい。
- ・ウェブ会議に必要な機器の購入費補助及びウェブ会議開催に必要なノウハウの講習会への講師派遣。
- ・市独自の情報端末が各世帯にあると良い。広報印刷も不要になる。
- ・ネット、Wi-Fi環境の構築するための設置経費の支援をお願いしたい。現在は各自スマートフォンのLINEアプリを活用（一部の役員）している。近い将来、世代交替には必須アイテムであり、行政支援として費用対効果は期待できる。ランニングコストは自治会負担とする。
- ・オンライン会議ができるような支援。

【情報伝達】

- ・情報伝達のスピードが必要。
- ・新型コロナに対する、ワクチン接種に関する詳細な情報発信、又回覧等にある場合早めの配布。
- ・各種情報のタイムリーな発信をお願いしたい。
- ・コロナ情報をもっと詳細に代表者に連絡してもらいたい。
- ・最新の情報の提供。
- ・広報等の郵送化。

【資金、物資の援助】

- ・地域防災用の支援金を増やして欲しい。
- ・自治会費の軽減のため、助成金が必要。健康管理のための器具の提供など。
- ・マスク等感染対策の現物支給。
- ・自治会活動保険料の助成金。

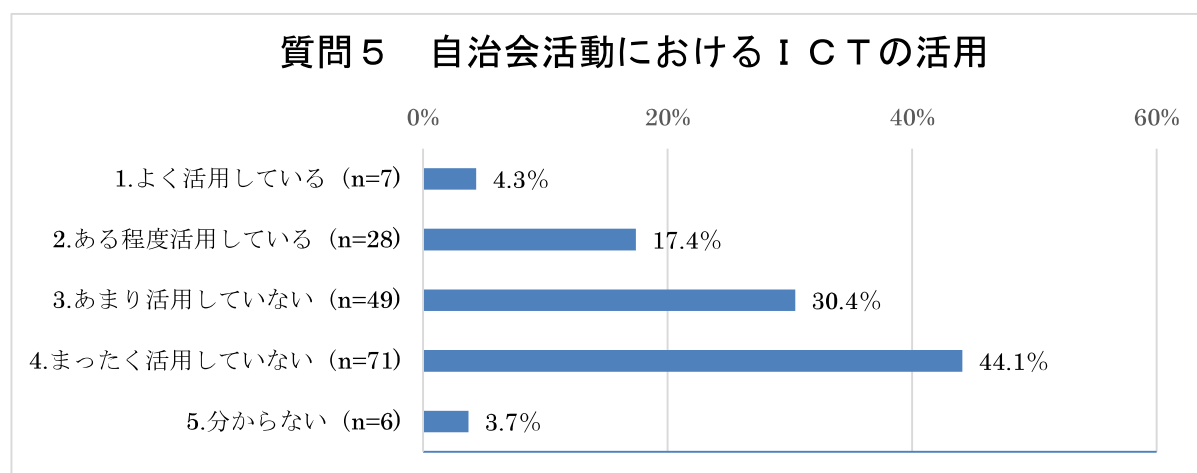
【その他】

- ・コロナ禍でもできる事業やイベントの実施方法に関する講習会の開催。
- ・行政には何も期待していない。
- ・自治会活動における災害時の対応。
- ・町会員間のコミュニティが薄くなりがち。特に高齢者世帯が顕著。個人情報保護の観点から自治会では把握出来てない世帯も多く困っている。その辺の情報公開支援があれば。
- ・自治会単位に「with コロナ」の講習会（勉強）を実施していただき、深く理解していく必要があると思う。
- ・身近なところ（近くの公園等）で青空教室みたいなものを開催したらどうか。
- ・自治会、地区として出来る事が限られているので、より強力な防止対策の指導、教育をお願いしたい。
- ・地区内での小さなイベント支援で交流の場作り。

2 コロナ禍においても安全に活動が継続できるとして、I C T (情報通信技術) の活用が注目されています。各自治会における I C T 活用状況を把握するためお聞きします。

質問5 自治会活動において、どのくらい I C T (メールやアプリ等) が活用されていると思いますか。

最も多い回答は「まったく活用していない」(46.1%)であり、次いで「あまり活用していない」(31.8%)となっております。

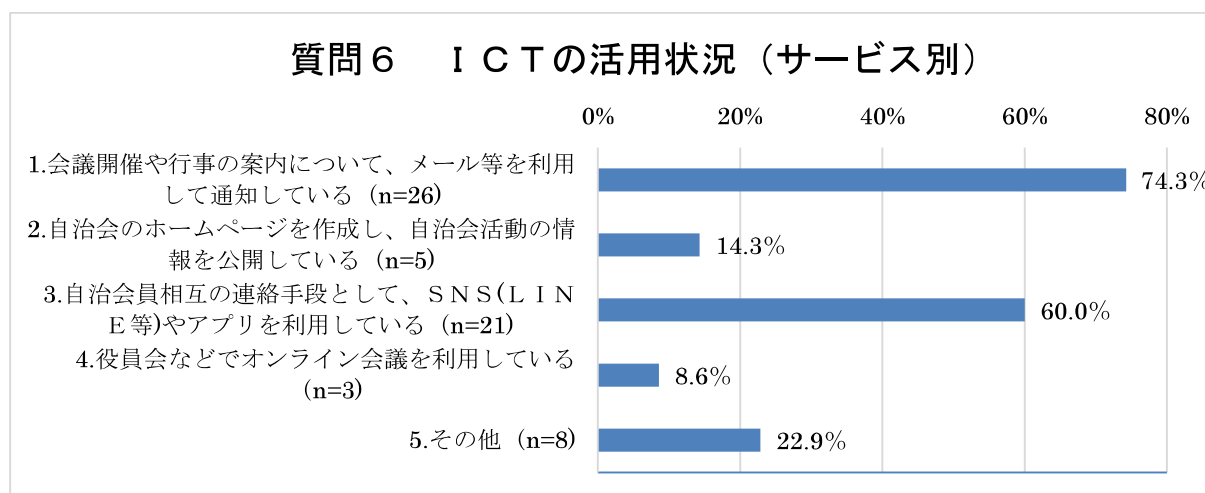


質問6 自治会活動において、I C T の活用状況についてお聞きします。(複数回答可)

※ 質問5で、「よく活用している」「ある程度活用している」と回答した方

最も多い回答は「メール等を利用して通知」(74.3%)であり、次いで「自治会員相互の連絡手段として、SNS (LINE等) やアプリを利用」(60.0%)となっております。

日頃から使用頻度の多いメールやLINE等は自治会活動においても活用されており、ホームページ作成やオンライン会議などは、活用状況が少なくなっております。



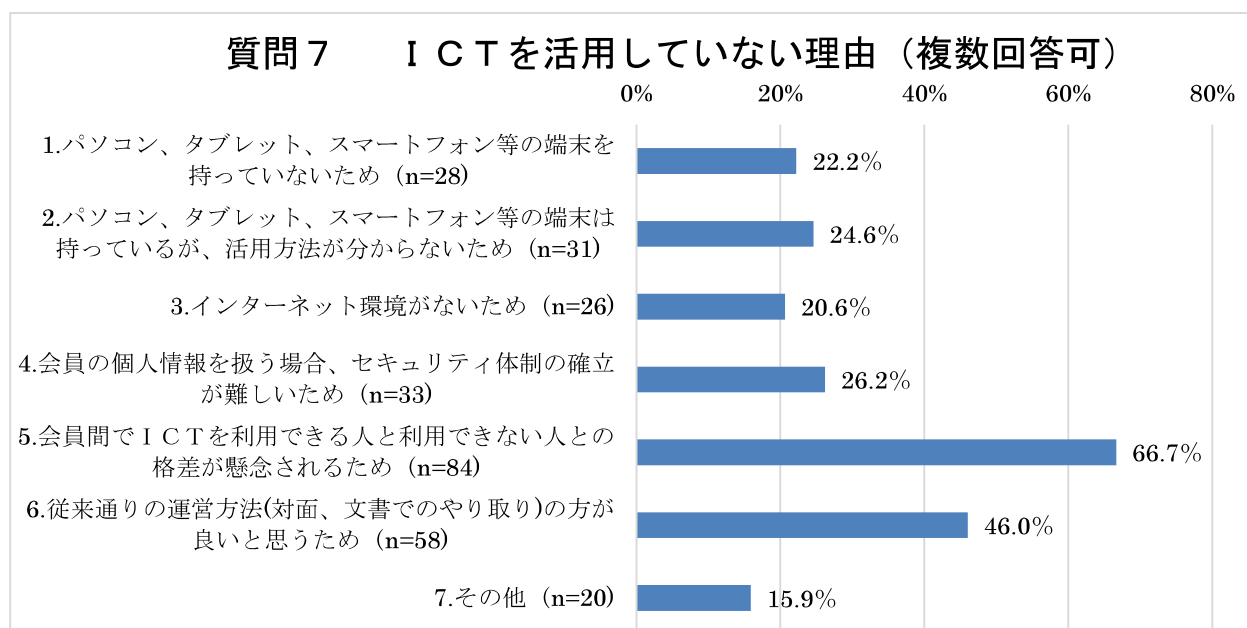
質問7 自治会活動において、ICTを活用していない理由についてお聞きます。

(複数回答可)

※ 質問5で、「あまり活用していない」「まったく活用していない」「分からない」と答えた方

最も多い回答は「ICTを利用できる人とできない人との格差の懸念」(66.7%)であり、次いで「従来通りの運営方法の方が良いと思う」(46.0%)となっております。

ICTの知識や技術には個人差があるため、従来通りの方法から切り替えを行わなかった方が多かったことが分かります。

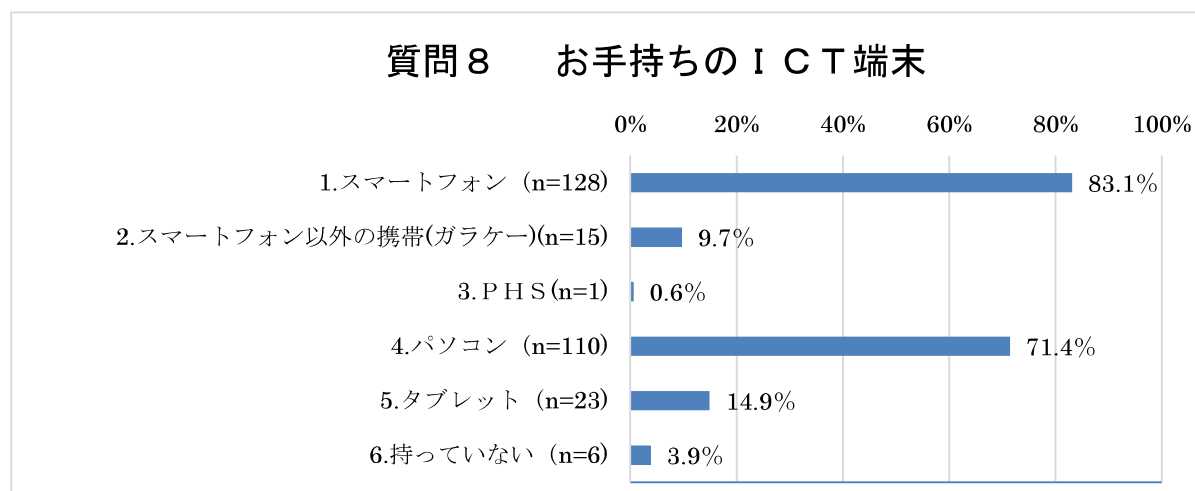


「7. その他」の回答 (抜粋)

- ・ 町内の高齢化のため。
- ・ 役員等のメンバー間であれば活用 (情報共有) ができるが、会員全員となると難しい。
- ・ 地域が狭いので、直接の方が正確に伝達できる。
- ・ 回覧文書TELのみで充分対応出来ている。
- ・ 持っていない人への費用、教育。
- ・ 班長の任期が1年、班長の半数以上が高齢者等で無理。
- ・ 必要ない。回覧板で間に合っている。
- ・ 自治会ではインターネットは経費節約のため契約していない。
- ・ スマートフォンを持ってもSNS等を使えない役員がいる。また使用方法を教えるのは、プライドを傷つけるようで難しい。
- ・ 世帯数が少ないため、電話等の連絡の方が迅速な対応が出来る。
- ・ 世帯数が多い。
- ・ 端末・通信環境・使用能力に差がある。
- ・ ICT活用の具体的イメージが湧かない。
- ・ 月1回の全戸参加 (25軒) の集会があるので間に合っている。

質問8 現在、お手持ちの I C T 端末の種類をお答えください。

最も多い回答は「スマートフォン」(83.1%) であり、次いで「パソコン」(71.4%) となっております。ガラケーの所有率は少なく、スマートフォン、パソコンを利用されている方が多くなっていることが分かります。



コロナ禍における自治会課題・ニーズ調査

新型コロナウイルス感染症による感染拡大の第5波は現在小康状態となっていますが、新たにオミクロン株が国内でも確認されるなど、気の抜けない状況が続いております。

各自治会の代表者様におかれましては先の見えないコロナ禍のなかで、非常に難しい自治会運営を強いられていることと拝察いたします。

今後、第6波の流行も懸念されますことから、各自治会における「コロナ禍における自治会課題・ニーズ調査」を実施し、今後の連合会運営の参考資料としてまいりたいと考えておりますので、何卒ご協力をお願いいたします。

《ご記入前にお読みください》

- ① 選択肢のある項目は、数字に○を付けてください。
- ② ()内は、直接ご記入をお願いします。
- ③ 回答は、答えられる範囲で結構です。
- ④ 令和4年1月7日(金)までに同封の返信用封筒にてご提出をお願いします。

※ 貴自治会（町会・地区・区）名などをご記入ください。

自治会名	
代表者氏名	

問合せ先：春日部市自治会連合会事務局（春日部市市民参加推進課内）

砂田・高畑・坂東

048-736-1111内線2875、2876

1 この度のコロナ禍における自治会運営の課題、ニーズを把握するためにお聞きします。

質問1 コロナ禍での自治会の運営において、お困りになっていることをお答えください。(複数回答可)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 自治会内での感染予防対策 | 2 役員・会員との連絡手段 |
| 3 広報の仕分け・配布 | 4 会費の徴収 |
| 5 会議・役員引継ぎ | 6 事業・イベントの実施判断 |
| 7 その他 (|) |

質問2 コロナ禍における自治会の財政状況について、最も近いと思うものに○をつけ、その理由をご記入ください。

- | | |
|----------------------|---|
| 1 コロナ禍以前より厳しい | |
| 理由 (|) |
| 2 コロナ禍以前と変わらない | |
| 理由 (|) |
| 3 コロナ禍以前より予算に余剰が出ている | |
| 理由 (|) |

質問3 昨年度(令和2年度)と比較して、今年度の自治会活動において工夫して実施した活動がありましたらご記入ください。

()

質問4 「with コロナ」というように新型コロナウイルスを想定した自治会運営をしていくにあたり、行政に求める支援がありましたらご記入ください。

()

～～次ページに続きます～～

2 コロナ禍においても安全に活動が継続できるとして、ＩＣＴ（情報通信技術）の活用が注目されています。各自治会におけるＩＣＴ活用状況を把握するためお聞きします。

質問５ 自治会活動において、どのくらいＩＣＴ（メールやアプリ等）が活用されていると思いますか。

1 よく活用している	2 ある程度活用している	→ 質問６へ
3 あまり活用していない	4 まったく活用していない	
5 分からない		→ 質問７へ

質問６ 自治会活動において、ＩＣＴの活用状況についてお聞きします。（複数回答可）

※ 質問５で、「よく活用している」「ある程度活用している」と回答した方

- 1 会議開催や行事の案内について、メール等を利用して通知している
- 2 自治会のホームページを作成し、自治会活動の情報を公開している
- 3 自治会員相互の連絡手段として、*ＳＮＳ（ＬＩＮＥ等）や*アプリを利用している
- 4 役員会などでオンライン会議を利用している
- 5 その他（ ）

*ＳＮＳ・・・ソーシャルネットワーキングサービスの略。スマートフォンやパソコンを使って人間関係を構築することのできるオンライン上のコミュニティサービスの総称。

*アプリ・・・アプリケーションソフトウェアの略。メールや地図などの特定の目的をもって作られた専用のソフトウェアのこと。

～～次ページに続きます～～

質問7 自治会活動において、ＩＣＴを活用していない理由についてお聞きします。

(複数回答可)

※ 質問5で、「あまり活用していない」「まったく活用していない」「分からない」と答えた方

- 1 パソコン、タブレット、スマートフォン等の端末を持っていないため
- 2 パソコン、タブレット、スマートフォン等の端末は持っているが、活用方法が分からないため
- 3 インターネット環境がないため
- 4 会員の個人情報を扱う場合、セキュリティ体制の確立が難しいため
- 5 会員間でＩＣＴを利用できる人と利用できない人との格差が懸念されるため
- 6 従来通りの運営方法(対面、文書でのやり取り)の方が良いと思うため
- 7 その他 ()

質問8 現在、お手持ちのＩＣＴ端末の種類をお答えください。

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1 スマートフォン | 2 スマートフォン以外の携帯(ガラケー) |
| 3 PHS | 4 パソコン |
| 5 タブレット | 6 持っていない |

～～同封の返信用封筒にてご返信ください。ご協力ありがとうございました。～～